

学校図書館支援センター通信 NO.18 特集号

平成20年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

盛会！学校図書館を語り合う

～「市川市学校図書館フェスティバル」開催！～

1月23日（金）、全国の学校図書館関係者（学校・幼稚園・公共図書館・教育委員会・大学・出版社・ボランティア等）総勢360名が、「読書の街・市川」の地に集い、『市川市学校図書館フェスティバル』が盛大に開催されました。大会テーマは、「学校図書館で育てる子どもの心と学び」。市外からは、北は北海道から南は中縄県まで19都道府県より約160名の方のご参加をいただきました。



記念講演会

「学校図書館の充実が教育の充実のカギになる。」

片山善博氏（慶應義塾大学法学部教授、文部科学省「子どもの読書サポーターズ会議」座長、前鳥取県知事）が「これからの学校図書館を考える」と題し、「図書館のミッション」という観点を柱に、学校図書館の果たすべき役割と方向性、さらには、地方自治や教育行政、学校教育に携わる者の意識や働きかけなどについて、ご教示いただきました。ご自身の子育てや知事時代などのご経験も含めた幅広い見地からのわかりやすく具体的なお話にて、参加者の皆さんも熱心に視聴されていました。

シンポジウム

事務局からの「学校図書館支援センター推進事業」についての事業報告の後、シンポジウムが行なわれました。

小林路子市川市学校図書館支援スタッフの進行により、中村伸子さん（袖ヶ浦市学校図書館支援センター支援スタッフ）をシンポジストに迎え、市川市学校図書館支援センター調査研究会委員の校長、司書教諭、学校司書によるそれぞれの立場からの提言がありました。子どもたちの心と学びを支援する学校図書館のあるべき姿について、それぞれの実践に基づいた話し合いとなりました。



分科会

研究協力校（国府台小、中国分小、大洲小、大野小、第七中、東国分中、南行徳中）をはじめ16校1園から、市川の学校図書館の生き生きとした姿について、日常の実践を通して報告・提案されました。参観者の皆さんからもご質問や貴重なご意見をたくさんいただき、互いに学び合うことができました。



第3分科会
「学校図書館の連携」
・三中・八幡小
・富貴島小
・百合台小
・百合台幼



第5分科会
「学校図書館とボランティア」
・富貴島小
・福栄小



第2B分科会
「授業での学校図書館活用②」
・大野小
・東国分中



第4分科会
「学校図書館の環境づくり」
・鬼高小
・南行徳中



第7分科会
「公共図書館の学校支援」
・中央図書館

参加者の皆さんの声

参加された皆さんより多くの声をお寄せいただきました。その一部をご紹介します。

○片山先生のお話、市川市の取組、増田校長先生のお話を聞いて、上に立つ人の意識で、学校も図書館もがらりと変わる、変わる実物を見た思いがしました。うらやましく思いました。（宮城県 公共図書館職員）

○学校図書館を活性化するための取組に多くの人たちが参加していることが大切だと思います。私たちも、市川市や袖ヶ浦市の活動を参考に子供たちに本を届ける仕組みづくりに取り組んでいきたいと思いました。でも、まだまだ理解が得られていないのが現状です。先進的な活動を、今回のようにアピールしていくことが必要です。そして、人のネットワークづくりが、コンピュータ化した時代だからこそ必要かと思いました。ますますの活動を楽しみにしています。お互いがんばりたいです。（香川県 公共図書館職員）

○片山先生の講義は、学校図書館の役割、すべきことを正確に言ってくださいました。教員の相談にのり、授業に必要な情報を渡すことで、学校図書館の必要性を教員、校長に認識してもらうことが重要だと改めて感じました。このお話を全国の市長、知事に聞かせたいと思いました。（愛媛県 公共図書館職員）

○記念講演 片山先生のお話をおもしろく感心して聞かせていただきました。今回のお話を全国の自治体で講演いただければ、もっと学校図書館への理解が深まると思います。シンポジウムでの三浦先生のお話参考になりました。作家講演会の実施、すごく大事だと思います。（北海道 教育委員会職員）

○第1分科会参加。学校図書館に人がいるからこそできる活動、司書と司書教諭が連携できるからこそ工夫できる活動や行事、どれもいきいきと活動する子どもたちが見えるようでした。シンポジウムで小林先生のおっしゃっていた計画的に進めていくことの大切さも改めて感じました。（東京都 公共図書館職員）



第1分科会
「司書教諭と学校司書・学校図書館員の連携」
・富美浜小
・国府台小



ご多用の中、全国よりご参集いただきました参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

○第6分科会参加。素晴らしい実践報告でした。5年くらい前、まだボランティアだったころにも、世田谷で学校図書館の講演で市川の学校図書館の報告がありました。その時も感動しましたが、今回は仕事をしているので、自分で取り入れることができます。会場の質問やテーマが深く、具体的な書名まであり、よかったです。（千葉県 学校図書館指導員）



第6分科会
「学校での読書指導」
・中国分小
・第七中

○片山さんのお話は大変参考になりました。司書を配置するように市教委にお願いする時には「図書館法を示す」ことだと思いました。シンポジウムでは、実践がたくさん聞けてよかったです。次の人たちに伝えることが、やはり課題だと思いました。

第2A分科会参加。大変参考になりました。実際に、司書・図書館員がいる学校の実践を聞くことができ、大変うらやましく思いました。図書館を利用できる授業を広げていきたいと強く思いました。学校で意識を高めたいと思いました。（静岡県 小学校教諭）



第2A分科会
「授業での学校図書館活用①」
・稲越小
・大洲小

○学校図書館の地域差（人的、物的、経済的）がこんなにもあるのに驚きました。また、図書費だけでなく、図書館に人（司書、図書館員）が必要であるという認識を、教育委員会の先生、校長先生、学校現場の先生が、皆さん持っていることに、やはり市川市が文化都市といわれるのがわかります。（千葉県 中学校司書）

○素晴らしいフェスティバルをありがとうございました。たくさん勉強させてもらいました。市川市をモデルに全国の学校図書館が良くなると思います。ただ、臨時職員の学校図書館員が素晴らしい成果をだせるとわかると（いいよりずっといいのです）、「それなら臨時で」となってしまう、市川市をモデルに、臨時職員の学校司書を置くようになってしまう気がします。岡山市のように、臨時職員から正規司書への昇格が一部でもあったらいいかと思いますが、いかがでしょうか？何とか学校図書館員全員が正規の仕事にならないかと思っています。（千葉県 教育委員会職員）

※ 研究協力校をはじめ、分科会提案校の皆様、また、司会・記録をご担当いただいた司書教諭の皆様、そして、大会の準備・運営にご協力をいただきました学校司書、学校図書館員の皆様、ありがとうございました。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

